

＜第10回 若園地域会議 会議録＞

日 時 令和7年2月19日（水） 19:00～20:30
場 所 若園交流館 大会議室
出席者 委 員 13名
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、川合主査
社会福祉協議会 都築課長、稲吉主査
オブザーバー 澤平交流館長

1 会長あいさつ

- ・会長あいさつ（省略）

2 報告事項

（1）第9回若園地域会議会議録について

- ・内容の確認

（2）地域課題解決事業について

- ・令和6年度事業の進捗状況を報告
- ・令和7年度の事業予定を説明

3 協議事項

（1）提言に向けた地域課題の協議および勉強会

- ・各グループで協議した「問題点」「取り組み」を提言書のスタイルでまとめた提言書（案）を作成し内容を説明する。今後、市の支援制度や他地域の取組などを学び、修正していく。
- ・高齢者に対する市の支援制度について説明する。
- ・若園地域で作られた福祉のガイドブックについて紹介する。
- ・他地域での高齢者の見守りについての取組を紹介する。
- ・高岡地区内でのお助け隊活動を紹介する。
- ・豊田市社会福祉協議会の職員より協議会の活動やお助け隊ならびにふれあいサロン設立運営に対する関りの説明を受ける。

委員より意見

- ＜委員＞ ふれあいサロンの開催状況はどうか。
- ＜社協＞ 若園地域では4つの団体が月1回程度午前中で開催している。
- ＜委員＞ 高齢者の相談先としては包括支援センターと社協ではどちらが良いか。
- ＜社協＞ どちらでも構わない。
- ＜委員＞ 高齢者の自立に対してはどのような取り組みが良いのか。
- ＜社協＞ 支え合いは、支える側、支えられる側として見るのではなく、生活するにはすべての方が支え合って生活している。なので、できることは支える側となる考えが必要。
- ＜委員＞ 高齢者世帯にはどのような手法で協力してもらえればいいのか。
- ＜社協＞ 逢妻地区では共働き家庭で子どもの雑巾が作れない課題があった。そこで、昔経験のある特別養護老人ホームの入居者に協力してもらい学校に寄付した事例がある。

4 その他

★次回開催 3月19日(水)午後7時～